

2009年1月1日
24号

かけはし

水戸総合病院広報誌

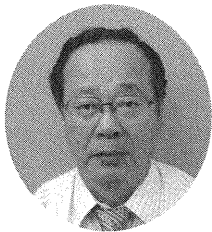
発行所 (株)日立製作所水戸総合病院
〒312-0057
ひたちなか市石川町20番1
TEL 029 (272) 5111
発行人 飯嶋和秀
編集 広報委員会
URL: <http://www.hitachi.co.jp/hospital/mito/>

【水戸総合病院理念】

説明責任を基本とした最新の技術と最良のサービスの提供により患者さまの満足される医療を遂行する

【水戸総合病院基本方針】

「地域の皆様の信頼と満足が私たちの生きがいです」のもとに、①急性期医療に重点を置いた地域完結型医療の実施、②最新の医療技術の確立、③説明責任を実施することによる最良のサービスの遂行を実践する



院長挨拶

(2009年 新年)

院長 永井庸次

新年明けましておめでとうございます。皆様方におかれましては、清々しい新年を迎えられたことと、心からお慶び申し上げます。

昨年1年間は医療費抑制政策の中、医療崩壊、特に地方の医療（病院）崩壊を目の当たりにし、水病も現状の医療体制を維持することが精一杯でありました。皆様方には日々の外来・入院さらに健診において非常にご迷惑をおかけしたこと、この場を借りて深くお詫び申し上げます。職員一同、可能な限りの医療提供が出来たと考えておりますが、非力であった点も否めません。「地域の医療は地域で護る」のが、一番肝要です。今後とも、初期・後期臨床研修医を含めた募集を、地域出身の医師、医学生に拡大し、この地域の医療を活性化していきたいと考えております。また、昨年10月から、ひたちなか市、ひたちなか市医師会のご協力の下に、日祭日昼間帯の小児救急を、開業医の先生方と当院の小児科医が協力してヘルスケアセンターではなく当院の小児科外来で実施することになりました。限られた資源を有効に活用するには、ヘルスケアセンターと当院救急センターの2箇所に分かれていた診療場所を、検査、処置並びに入院も可能な当院小児科外来の1箇所にまとめることが必要と考えた結果です。

さて、一昨年9月に新病院棟建築の計画目論見が本社の認可を受けてから、早や1年が過ぎました。この間、基本設計から実施設計、さらには建築だけではなく、空調、電気、給排水という設備系の設計に明け暮れておりましたが、この程、建築・設備系の正式認可を頂き、本1月19日に起工式の運びとなりました。この間の本社の関係各位、日立事業所、ひたちなか地区各事業所、日立建設設計、茨城病院センタ等の皆様方、並びにひたちな

か市、茨城県の関係各位のご尽力に深く感謝申し上げます。世界的不況と異常な建材高騰の中、認可を受けましたことは、僥倖であったと私は考えておりますし、日立製作所の気概を感じた次第でして、まさに「地域を護る病院」を作ることが私に与えられた使命と痛感いたしました。

起工式が終了いたしますと、いよいよ施工が始まり、約16ヶ月の工期で免震性の地上6階の新病院が2010年6月前後に完成し、即時移転いたします。病床数も215床から288床と末広がりです。個室も20室から106室に増加し、外観も日立製作所、ひたちなか市、ホスピタルの最初のアルファベットであるH型となります。県の医療計画に則った、救急医療・がん診療・重症疾患医療の充実の他、50床の回復期リハビリ病棟を新設しますので、リハビリの更なる充実と病院から直接ご自宅に退院される方々が増加するものと思います。

この新病院への移転は現在の当院の色々な業務を革新するための最大の契機と私は考えております。しかし、業務革新を可能とするためには業務の標準化ができていないといけません。標準化とは、要はどこの外来、病棟に行っても、いつでも、だれでも、ある程度の業務が職員一同できるといことであります。そのためには、今年1年間は全員で現場において5S（整理、整頓、清潔、清掃、躰け）を実行していきたいと考えております。この5Sの徹底により、日常業務の標準化が、ひいては業務の革新を行うことが可能となります。この16ヶ月間の施工期間中は皆様方に、駐車場・騒音等、多々ご迷惑をおかけすることと思いますが、全員参加で、現場目線で建築、設備、運用において改善を図り、新病院移転に備えたいと考えておりますので、本年も何卒よろしくご指導、ご鞭撻の程、お願いいたします。

最後に、皆様方の益々のご健勝とご活躍とともに、この1年間、無事故でつつがなく新病院が完成することを祈念いたしまして、新年のごあいさつとさせていただきます。

水戸総合病院・総合健診センター休日のお知らせ

2009年

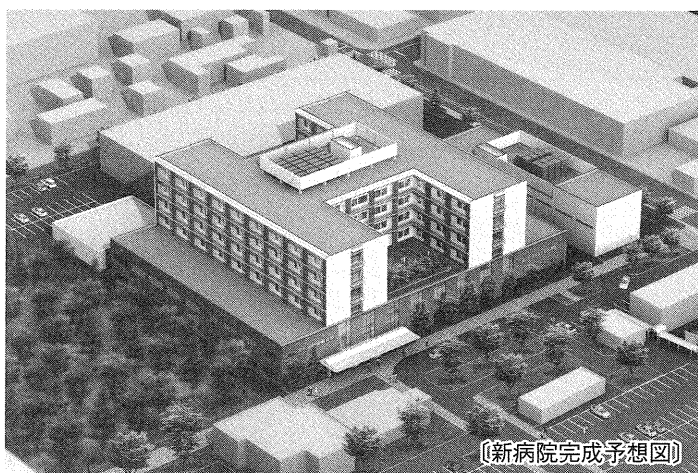
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土				
	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7				1	2	3	4						1	2			
2	8	9	10	11	12	13	14	3	8	9	10	11	12	13	14	4	5	6	7	8	9	10	11	5	3	4	5	6	7	8	9
月	15	16	17	18	19	20	21	月	15	16	17	18	19	20	21	月	12	13	14	15	16	17	18	月	10	11	12	13	14	15	16
	22	23	24	25	26	27	28		22	23	24	25	26	27	28		19	20	21	22	23	24	25		17	18	19	20	21	22	23
									29	30	31						26	27	28	29	30				24	25	26	27	28	29	30

■は休日

水戸病院リニューアル

リニューアル推進室 堀田 義雄

茨城県ひたちなか地域における医療の高度化と「地域完結型病院」としての診療機能を図るため新病院建設を計画して参りましたが、2007年9月に本社認可があり、その後基本設計及び実施設計を進めてきました。そして2008年12月中旬に建築確認申請の認可が下りたことにより、2009年1月19日に起工式を執り行うこととなりました。新病院は2009年1月に着工し2010年6月から診療を開始する予定です。工事期間中は周辺交通などご迷惑をおかけすることもあろうかと思いますが、ご理解の程よろしくお願い申し上げます。



〔新病院完成予想図〕

クリスマスイベントを開催しました

ボランティア委員会 上村 和恵

ボランティア委員会では、12月25日（木）にクリスマスイベントを開催致しました。研修医や院内のボランティアスタッフがサンタやトナカイに扮し、入院中の患者様一人一人にプレゼントをお渡ししました。プレゼントは、うさぎの形に織ったタオルに、院内スタッフが書いたクリスマスカードを添えたささやかなものでしたが、プレゼントを受け取った患者様からは笑顔がこぼれていました。そんな患者様の笑顔に私たち院内スタッフも癒されます。

今後も、様々なイベントを催していこうと考えております。ボランティアに興味のある方はぜひご協力下さい。



「病院ボランティア」募集



当院では、2001年8月より「心あたたまる癒しの病院」を目指し、院内でボランティア活動を開始致しました。これまでに外来の案内やミニコンサート開催などを行ってきました。現在の主な活動内容は、各病棟で移動図書館のワゴンサービスを行っており、入院患者様からも好評を頂いております。こうした活動に賛同頂けるボランティアスタッフの募集をしております。ご興味のある方は是非ご連絡下さい。



インフルエンザの感染予防策

保健師 加藤 明美

インフルエンザが流行する季節になりました。インフルエンザの主な感染経路は「飛沫感染」と「接触感染」です。感染を防ぐ備えをご紹介します。

1. 人との距離を2m以上とる

咳のしぶきが飛ぶのは1～2m以内といわれています。流行時には不要な外出を控えることも大切な感染予防です。

2. 手洗い・手指の消毒

石鹸を使って、15秒以上洗いましょう。また、ウイルスは60～80%のアルコール製剤に触れると死滅します。即乾性のある手指消毒用アルコール製剤を使用してもよいでしょう。携帯できるものを用意しておけば、近くに手洗い場がなくても消毒ができます。

3. 咳エチケット

熱・咳・くしゃみなどの症状がある時は、マスクを使用し、周囲の人に感染させない為の「咳エチケット」を徹底しましょう。

4. 身の回りの清掃・消毒

感染者が手で口を覆って咳やくしゃみをした後や鼻水に触れた後は、ウイルスが付着します。ドアノブや電気スイッチ、階段の手すり、トイレの水洗レバーなどよく触れるところは、水と洗剤でよく拭き掃除をしましょう。

5. インフルエンザワクチンの接種

インフルエンザワクチンを接種することで、もし感染しても、重症化を抑える効果が期待できます。

このような感染予防に努めて、インフルエンザに罹らないように注意してください。

活動内容

病棟移動図書館のワゴンサービス 等

活動時間

毎週水曜日（午前10時～午後12時）

※活動頻度などについては、応相談

応募・お問合せ先

（株）日立製作所水戸総合病院

事務局総務係 吉岡 TEL：029-272-5111

※ご応募・お問合せは、お電話のみの対応とさせていただきます。